

令和7年度 病害虫発生予察情報

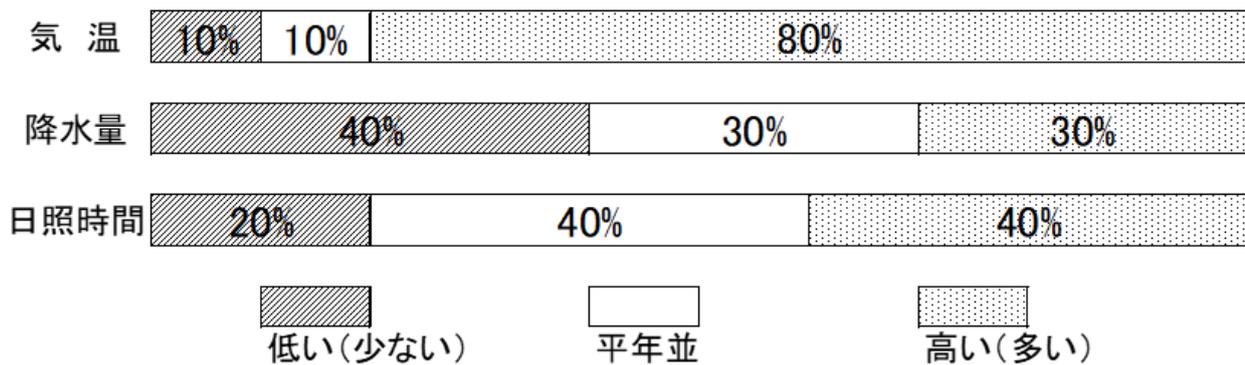
発生予報第7号（9月）

令和7年9月1日
島根県

予報の概要

区分	農作物名	病害虫名	予想発生量		
普通作物	イネ	穂いもち	平年並		
		紋枯病	平年並		
		白葉枯病	平年並		
		もみ枯細菌病	平年並		
		ツマグロヨコバイ	少ない		
		トビイロウンカ	やや少ない		
		斑点米カメムシ類	平年並～やや多い		
		果樹	ダイズ ナシ	ハスモンヨトウ	平年並
				黒斑病	平年並
				シンクイムシ類	平年並～やや多い
野菜	アブラナ科野菜	ハダニ類	やや多い		
		カメムシ類	平年並～やや多い		
		うどんこ病	少ない～やや少ない		
		カキミガ	平年並～やや多い		
		カメムシ類	平年並～やや多い		
		アブラムシ類	やや少ない～平年並		
		コナガ	やや多い		
アオムシ	やや多い				
		ハスモンヨトウ	やや少ない		

中国地方1か月予報(8月30日～9月29日・広島地方气象台8月28日発表)
＜向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)＞



A. 普通作物

1) イネ

(1) 穂いもち

予報内容

発生地方

県内全域

発生量

平年並

予報の根拠

① 葉いもちの発生量は平年並みである。

② 向こう1か月の気象は、本病の発生を特に助長する要因とはならない。

(2) 紋枯病

予報内容

発生地方 県内全域

発生量 平年並

予報の根拠

- ① 県内の一部で発生が多いほ場もみられるが、全般の発生量はやや少ない。
- ② 向こう1か月の気象は、本病の発生にやや助長的である。

(3) 白葉枯病

予報内容

発生地方 県内常習発生地帯

発生量 平年並

予報の根拠

- ① 本病の発生は認めていない。
- ② 向こう1か月の気象は、本病の発生を特に助長する要因とはならない。

(4) もみ枯細菌病

予報内容

発生地方 県内全域

発生量 平年並

予報の根拠

- ① 全般の発生量は平年並みである。
- ② 向こう1か月の気象は、本病の発生にやや助長的である。

(5) ツマグロヨコバイ

予報内容

発生地方 県内全域

発生量 少ない

予報の根拠

- ① 8月下旬に実施した巡回調査の結果、発生ほ場率は14.3%（平年39.5%）、捕獲数は0.9頭/50株（平年9.8頭/50株）となり、本種の発生量は平年に比べて少ない。
- ② 8月第5半旬までに予察灯（出雲市）において本種成虫は31頭誘殺されており（平年278.0頭）、誘殺数はやや少ない。
- ③ 向こう1か月の気象は、本種の発生に助長的である。

(6) トビイロウンカ

予報内容

発生地方 県内全域

発生量 やや少ない

予報の根拠

- ① 8月第5半旬までに予察灯（平年1.0頭）、粘着板（平年3.8頭）、ネットトラップ（平年0頭）（いずれも出雲市）では本種の誘殺を認めていない。
- ② 8月下旬に行った巡回調査の結果、本種の発生ほ場率は2.4%（平年27.6%）、捕獲数は0.05頭/50株（平年14.3頭/50株）となり、本種の発生量はやや少ない。
- ③ 向こう1か月の気象は、本種の発生に助長的である。

(7) 斑点米カメムシ類

予報内容

発生地方 県内全域

発生量 平年並～やや多い

予報の根拠

- ① 8月下旬に実施したほ場でのすくい取り調査の結果、斑点米カメムシ類の発生ほ場率は48.8%（平年38.4%）、平均捕獲虫数は4.3頭/20回振り（平年7.6頭/20回振り）となり、斑点米カメムシ類の発生量は平年並みである。主要種はアカスジカスミカメであるがイネカメムシ、クモヘリカメムシ、ホソハリカメムシなどの大型斑点米カメムシの発生も見られる。
- ② 8月第5半旬までの予察灯（出雲市）における斑点米カメムシ類（アカスジカスミカメおよびアカヒゲホソミドリカスミカメ）の合計誘殺数は402頭（平年261.8頭）と平年に比べて多い。

- ③ イネカメムシ（成虫）の発生ほ場率は16.3%、平均捕獲虫数は0.3頭/20回振りであった。また、幼虫の発生も認められており、発生ほ場率は21.0%、平均捕獲虫数は1.0頭/20回振りであった。
 - ④ 向こう1か月の気象は、本種の発生を抑制する要因とはならない。
- 注) 令和7年度 病害虫発生予察情報 注意報 第1号参照
令和7年度 病害虫発生予察情報 技術情報 第2号参照

2) ダイズ

(1) ハスモンヨトウ

予報内容
発生地方 県内全域
発生量 平年並

予報の根拠

- ① 8月下旬の巡回調査では、本種幼虫による白変か所数は0.23か所/a(平年0.55か所/a)、発生ほ場率は23.3%(平年33.6%)と発生量は平年並みである。
- ② 7、8月のフェロモントラップによるハスモンヨトウ雄成虫の累積誘殺数は、県東部では401頭(平年597.9頭)と少なく、県西部では37頭(平年502.0頭)とやや少なかった。
- ③ 向こう1か月の気象は、本種の発生に助長的である。

B. 果樹

1) ナシ

(1) 黒斑病

予報内容
発生地方 県内「二十世紀」栽培地帯
発生量 平年並

予報の根拠

- ① 8月下旬の巡回調査では、発病葉率13.1%(平年13.4%)と、発生量は平年並みである。
- ② 向こう1か月の気象は、本病の発生を特に助長する要因とはならない。

(2) シンクイムシ類

予報内容
発生地方 県内ナシ栽培地帯
発生時期 平年並
発生量 平年並～やや多い

予報の根拠

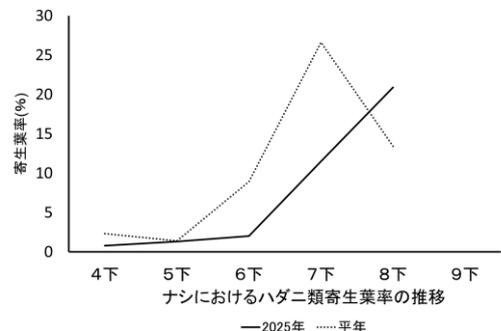
- ① 予察ほ場(安来市・出雲市)のフェロモントラップでのナシヒメシンクイ雄成虫の誘殺盛期は平年並み、8月第6半旬までの誘殺数は平年並みである。
- ② 向こう1か月の気象は、本種の発生に助長的である。

(3) ハダニ類

予報内容
発生地方 県内ナシ栽培地帯
発生量 やや多い

予報の根拠

- ① 8月下旬の巡回調査では、寄生葉率20.9%(平年13.4%)、寄生虫数78.8頭/50葉(平年35.5頭)と平年に比べてやや多い(右図参照)。
- ② 向こう1か月の気象は、本種の発生を抑制する要因とはならない。



(4) カメムシ類

予報内容
発生地方 県内ナシ栽培地帯
発生量 平年並～やや多い

予報の根拠

- ① 予察灯(出雲市)における8月第1半旬から第6半旬までのカメムシ類の誘殺数は1,296頭(平年1872.8頭)と、発生量は平年並みである。
- ② 向こう1か月の気象は、本種の発生に助長的である。

2) カキ

(1) うどんこ病

予報内容

発生地方 県内カキ栽培地帯
発生量 少ない～やや少ない

予報の根拠

- ① 8月下旬の巡回調査では、発病葉率 1.3% (平年 6.9%) であり、発生量は平年に比べてやや少ない。
- ② 向こう1か月の気象は、本病の発生に抑制的である。

(2) カキミガ (第2世代)

予報内容

発生地方 県内カキ栽培地帯
発生量 平年並～やや多い

予報の根拠

- ① 8月下旬の巡回調査では第1世代幼虫による芽及び果実の被害は、一部発生ほ場もあるが、全般の発生量は平年並みである。
- ② 向こう1か月の気象は、本種の発生に助長的である。

(3) カメムシ類

予報内容

発生地方 県内カキ栽培地帯
発生量 平年並～やや多い

予報の根拠

- ① 予察灯(出雲市)における8月第1半旬から第6半旬までのカメムシ類の誘殺数は1,296頭(平年1872.8頭)と、発生量は平年並みである。
- ② 8月下旬の巡回調査では被害果率は0.3%(平年2.5%)と平年に比べてやや少ない。
- ③ 向こう1か月の気象は、本種の発生に助長的である。

C. 野菜

1) アブラナ科野菜

(1) アブラムシ類

予報内容

発生地方 県内全域
発生量 やや少ない～平年並

予報の根拠

- ① 8月下旬の巡回調査では、発生ほ場率は20.0% (平年38.9%)、寄生株率は2.0% (平年7.4%) と平年並みである。
- ② 現在までの有翅虫の黄色水盤への7、8月の累積誘殺数はやや少ない。
- ③ 向こう1か月の気象は、本種の発生を助長する要因とはならない。

(2) コナガ

予報内容

発生地方 県内全域
発生量 やや多い～多い

予報の根拠

- ① 8月下旬の巡回調査では、発生ほ場率は80.0% (平年30.4%)、寄生株率は13.0% (平年5.9%) であり、発生量は平年に比べてやや多い。
- ② 向こう1か月の気象は、本種の発生を抑制する要因とはならない。

(3) アオムシ

予報内容

発生地方 県内全域
発生量 やや多い～多い

予報の根拠

- ① 8月下旬の巡回調査では、発生ほ場率は20.0% (平年15.5%)、寄生株率は4.0% (平年1.7%) と平年に比べてやや多い。
- ② 向こう1か月の気象は、本種の発生を抑制する要因とはならない。

(4) ハスモンヨトウ

予報内容

発生地方 県内全域
発生量 やや少ない

予報の根拠

- ① 8月下旬の巡回調査では、発生ほ場率は0%（平成20.0%）、寄生株率は0%（平成2.8%）であり、発生量は平年に比べて少ない。
- ② 7、8月のフェロモントラップによるハスモンヨトウ雄成虫の累積誘殺数は、県東部では401頭（平成597.9頭）と平成並、県西部では37頭（平成502.0頭）と少なかった。
- ③ 向こう1か月の気象は、本種の発生に助長的である。

【参考となる事項】

※最新の農薬登録状況

農林水産省ホームページには、農薬登録情報提供システムが掲載されています。

農林水産省農薬登録情報提供システムのアドレスは <https://pesticide.maff.go.jp/>

島根県病害虫防除所（島根県農業技術センター 資源環境研究部 病虫科）

〒693-0035 出雲市芦渡町2440

TEL 0853-22-6772、FAX 0853-24-3342

ホームページアドレス

http://www.pref.shimane.lg.jp/industry/norin/gijutsu/nougyo_tech/byougaityuu/
e-mail boujyo@pref.shimane.lg.jp